

製造業安全対策官民協議会

サブWG田村チームの検討結果と今後の方向性

製造業における安全の推進:

経営層・管理層のリーダーシップと現場力の強化

I. 産業安全の経済効果と社会的評価

- ① 経営層・管理層:安全対策への適正な投資の経営判断
- ②. 経営層・管理層:安全の重要性認識、安全関係者の経営貢献評価

II. 体系的安全教育の推進

産業安全、社会安全を理解できる人材育成のための初等・中等教育、高等教育、企業教育、社会人教育の適性化

I. 産業安全の経済効果と社会的評価

1. 安全対策の経済効果

①. 安全対策の経済効果の実態調査:

アンケート実施(2018年)、企業ヒヤリング実施(2019年、2020年)

②. 安全対策の経済効果の評価ツール開発(中災防調査研究)

概念整理(2019年、2020年、2021年)

評価ツールの試行(2021年)・開発(2022年)

③. 安全対策の経済効果に関する良好事例の提供(2022年)

*** 評価ツールの継続的改善、評価事例収集と提供、幅広い分野への展開普及**

2. 産業安全の社会的評価

①. 安全対策の社会的評価:アンケート実施(2017年)

②. 産業安全の社会的評価の考え方の整理と指標の検討

経営の安全理念、安全体制、安全活動、社会への情報発信、安全成績(直接、間接)

③. 産業安全の社会的評価の高い企業等へのインセンチブの検討

表彰、銀行融資、保険の優遇措置、規制緩和等

安全対策の費用対効果評価ツールの開発 (Excel作成)

入力 (評価条件)

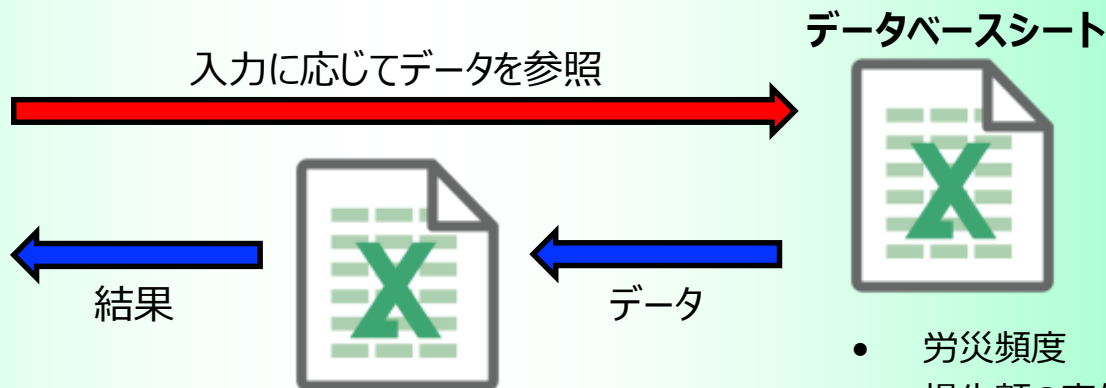
- 業種、従業員数、事故の型、起因物
- 初期費用、ランニングコスト
- 事故発生時の損失額の想定



出力 (評価結果)

- 安全対策費用まとめ [円]
- 安全対策前後の労災頻度
- 便益 = 回避された損失額 [円]
- 安全対策の **費用対効果** [円]

- 経営トップの安全対策への適正な投資に関する経営判断に資する
- 従業員に対策費や事故による損失の大きさを伝え意識向上を図る
- 企業や安全関係者が社会的に評価される環境の整備



計算式シート

- 安全対策費用の現在価値の評価
- 労災頻度の低下の評価
- 労災頻度の低下による損失回避額の評価



- 労災頻度
 - 損失額の実例
- 『災害コストの実例』(中災防, 2004) から引用

課題：計算根拠となるデータの継続的改善、評価実例の収集

産業技術総合研究所 牧野主任研究員

Ⅱ. 体系的な安全教育の推進

1. 産業安全教育の体系化と共有化

1) 階層別安全教育プログラム

- ①. 各産業分野、各階層実施の安全教育プログラム: アンケート実施(2017年)
- ②. 階層別の安全教育プログラム: 各団体実施例の紹介(神戸宣言対応)

*** 情報共有化の推進**

2) 体感安全教育

- ①. 体感安全教育の体系的整理(2018年)
- ②. 体感安全教育の実態調査:
各産業分野、各階層が必要とする体感安全教育(2018年)
施設・設備の保有状況、利用状況: アンケート実施(2019年)
- ③. 体感安全教育施設・設備の情報共有化(アンケート実施、意見交換会)
「はさまれ・巻き込まれ」(2021年)、「爆発・火災」(2022年)

*** 情報共有化の推進**

2. 学校安全教育への協力

- ①. 産業界の学校安全教育への協力実態: アンケート実施(2018年)
- ②. 小学校、中学校、高等学校、大学において、産業界として最低限実施して欲しい
安全教育内容の議論
- ③. 工場見学等での安全教育、出前安全教育(実験)の好事例の映像等の収集・紹介

*** 学校安全教育への協力の推進**